

決算説明資料

2027年3月期 中間期

2026年10月29日

Securities Code 4290

40th

Prestige International Inc.



 **PRESTIGE** INTERNATIONAL



主要事業の成長により 売上高／営業利益の 成長が継続

- 主要事業を中心に既存事業の拡大及び委託料改定により売上高と営業利益の拡大を達成。
- 親会社株主に帰属する中間純利益に関しては、記念株主優待費用等の計上や法人税等の負担増加により計画を下回る。

通期予想は据置き

- グループ会社の株式会社イントラストが展開する金融保証事業にて業績予想の修正があったものの、一部事業領域において下期の下振れを見込んでおり通期予想は据置き。

株主還元の充実

- 2026年7月28日に決議した約10億円の自己株式取得終了を受けて、第8次中期経営計画で掲げた「総額130億円還元」の達成に向けて順調に進捗。

- 2027年3月期 中間期 決算サマリー
- 2027年3月期 中間期 事業別業績サマリー
- 株主還元
- サステナビリティ
- Appendix



■ 2027年3月期 中間期 決算サマリー



2027年 3 月期 中間期 連結業績サマリー

(百万円)

表示単位未満の端数は切り捨てて表示しております。

	FY2026.3 H1	FY2027.3 H1	YoY (%)	通期予想	vs.通期予想 進捗率
売上高	34,400	37,467	3,066 (8.9%)	76,000	49.3%
営業利益	4,256	4,669	413 (9.7%)	9,600	48.6%
経常利益	4,683	5,058	374 (8.0%)	9,930	50.9%
親会社株主に帰属する 中間(当期)純利益	2,662	2,359	△302 (△11.4%)	5,920	39.9%

- 売上高
金融保証事業とオートモーティブ事業を中心に、既存事業の拡大及び前期に獲得した新規クライアントが順調に拡大し増収。
- 営業利益
人件費や外注費の上昇を、金融保証事業の増収やプロパティ事業のパークアシストにおける委託料改定により吸収し増益。
- 親会社株主に帰属する中間純利益
記念株主優待の実施、新たな拠点開設に伴う一時的な資産除去による特別損失の計上等により、中間純利益は減少。

2027年 3 月期 中間期 連結損益計算書

(百万円)

表示単位未満の端数は切り捨てて表示しております。

	FY2026.3 H1	FY2027.3 H1	増減	YoY (%)
売上高	34,400	37,467	3,066	8.9%
売上原価	27,054	29,509	2,454	9.1%
売上総利益	7,345	7,957	612	8.3%
売上総利益率	21.4%	21.2%	△0.2pt	—
販売費及び一般管理費	3,089	3,288	198	6.4%
営業利益	4,256	4,669	413	9.7%
営業利益率	12.4%	12.5%	0.1pt	—
経常利益	4,683	5,058	374	8.0%
経常利益率	13.6%	13.5%	△0.1pt	—
親会社株主に帰属する 中間期純利益	2,662	2,359	△302	△11.4%

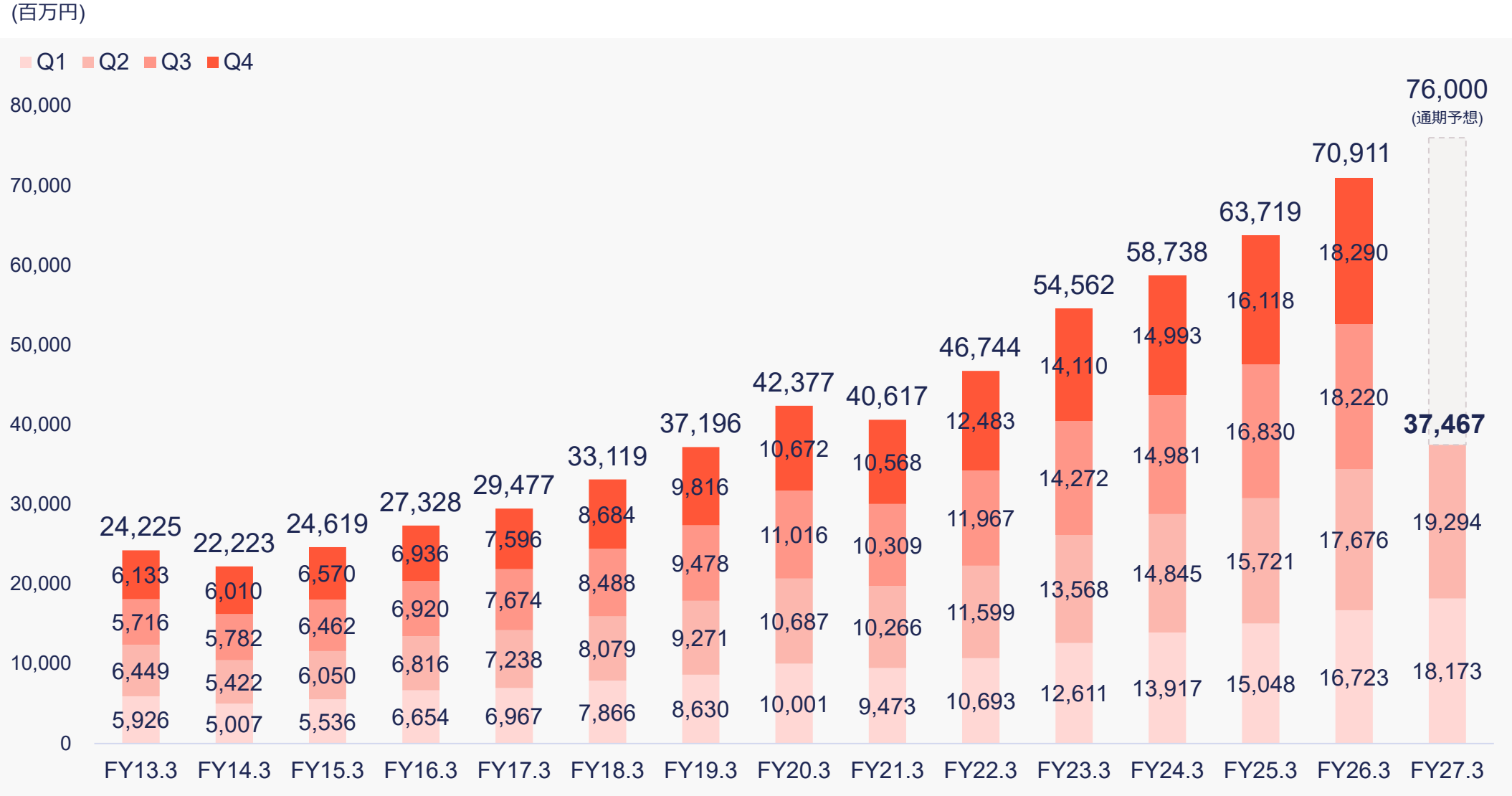
2027年 3 月期 中間期 連結貸借対照表

(百万円)

表示単位未満の端数は切り捨てて表示しております。

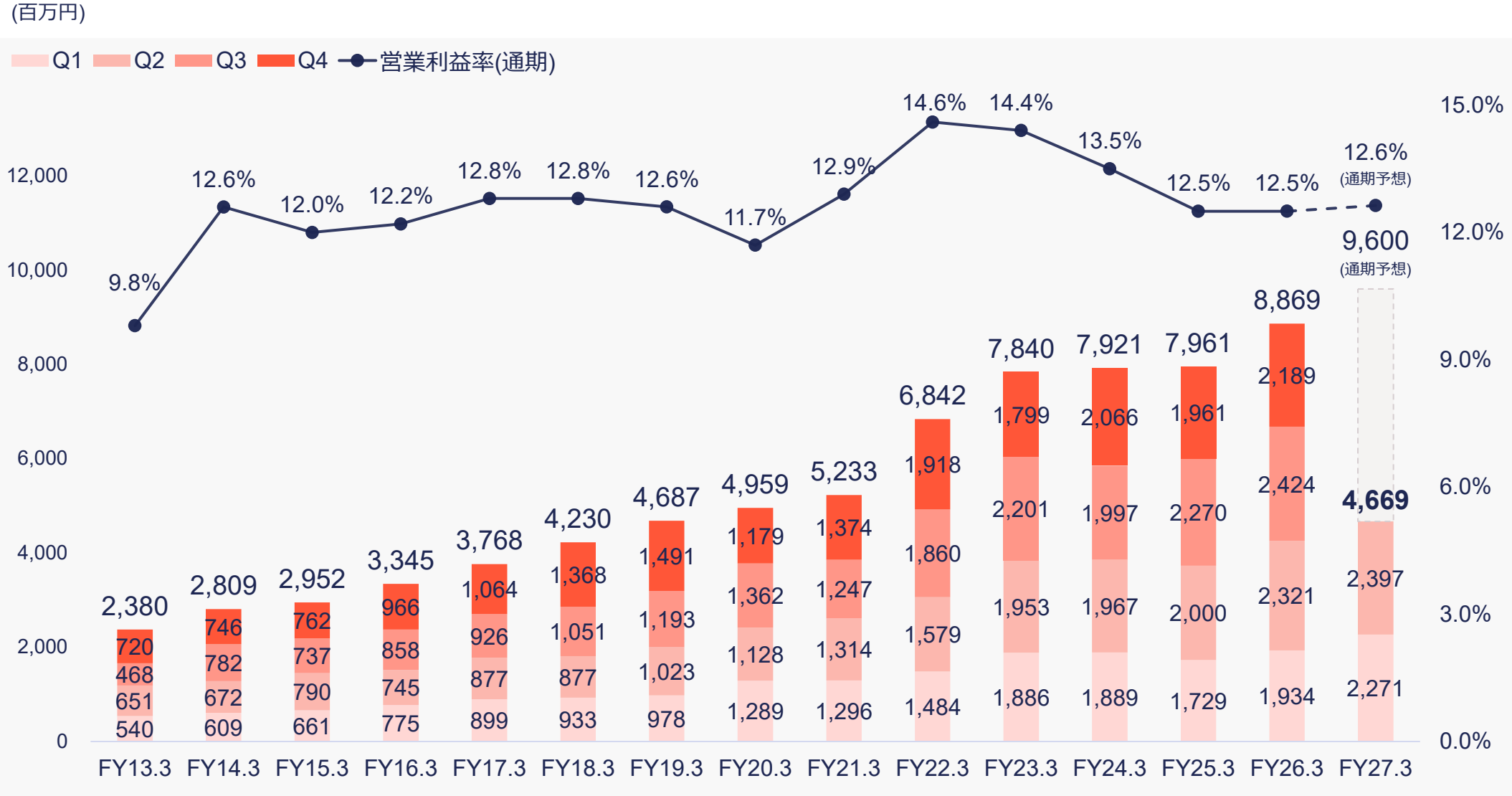
	2026年 3 月末	2026年 9 月末	増減	増減(%)
流動資産	46,629	48,104	1,475	3.1%
固定資産	35,614	37,554	1,939	5.4%
資産合計	82,244	85,659	3,414	4.1%
流動負債	26,826	30,051	3,225	12.0%
固定負債	2,931	3,039	108	3.6%
負債合計	29,757	33,090	3,333	11.2%
株主資本	44,135	44,224	89	0.2%
その他の包括利益累計額	4,227	3,816	△411	△9.7%
非支配株主持分等	4,124	4,527	403	9.7%
純資産合計	52,486	52,568	81	0.1%
負債純資産合計	82,244	85,659	3,415	4.1%

四半期売上高推移



表示単位未満の端数は切り捨てて表示しているため、合計値が表示の値と合わない場合があります。

四半期営業利益推移



表示単位未満の端数は切り捨てて表示しているため、合計値が表示の値と合わない場合があります。

■ 2027年3月期 中間期 事業別業績サマリー



2027年 3 月期 事業別修正業績予想

(百万円)

表示単位未満の端数は切り捨てて表示しております。

		FY2027.3 売上高 通期予想			FY2027.3 営業利益 通期予想			
		期初	修正	差異	期初	修正	差異	
	オートモーティブ	31,530	31,450	△80 △0.3%	3,700	3,640	△60 △1.6%	下期は、クライアント企業の新車販売減少に伴う関連業務の取扱件数の減少や、一部の新規受託業務の開始時期が来期となる見込みであること想定し下方修正。
	プロパティ	10,590	10,590	0 0.0%	900	900	0 0.0%	—
	グローバル	11,000	10,700	△300 △2.8%	1,350	1,320	△30 △2.3%	ヘルスケアプログラムにおいて顧客企業の契約形態変更に伴う保険料売上高の減少及び損害調査代行サービスの取扱件数減少を受けて下方修正。
	カスタマー	6,730	6,620	△110 △1.7%	1,070	1,010	△60 △5.9%	売上・利益ともに前年同水準での推移を見込み下方修正。
	金融保証	14,200	14,350	150 1.0%	3,000	3,180	180 5.7%	家賃債務保証、医療費用保証及び介護費用保証の契約件数が順調に推移していることを受け上方修正。
	IT	850	1,240	390 31.5%	130	140	10 7.1%	第 2 四半期におけるシステム稼働開始に伴う一時的な売上及び利益の増加を受け上方修正。
	ソーシャル	1,100	1,050	△50 △4.8%	△550	△590	△40 (—)	下期も期初予想を下回る減収や、体制・戦力強化に伴う人件費増加を見込み下方修正。
合計		76,000	76,000		9,600	9,600		

2027年 3 月期 中間期 事業別業績サマリー

(百万円)

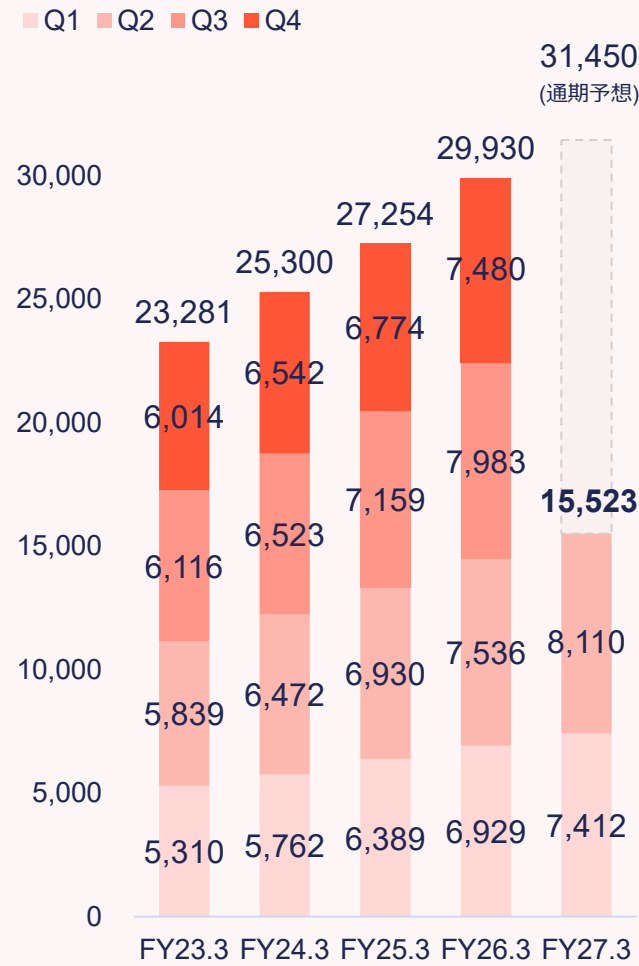
表示単位未満の端数は切り捨てて表示しております。
「通期修正予想進捗率」の値は、p11で示している修正後予想を反映しております。

	FY2027.3 H1 売上高	YoY (%)	vs.通期修正 予想進捗率	FY2027.3 H1 営業利益	YoY (%)	vs.通期修正 予想進捗率
 オートモーティブ	15,523	1,057 7.3%	49.4%	1,633	147 9.9%	44.9%
 プロパティ	5,309	476 9.9%	50.1%	476	120 33.7%	52.9%
 グローバル	5,060	△49 △1.0%	47.3%	702	△10 △1.4%	53.2%
 カスタマー	3,281	△18 △0.6%	49.6%	494	25 5.4%	48.9%
 金融保証	7,017	1,156 19.7%	48.9%	1,582	194 14.0%	49.7%
 IT	842	453 116.6%	67.9%	93	60 183.8%	66.4%
 ソーシャル	431	△9 △2.2%	41.0%	△269	△82 (—)	—
全社・消去	—	—	—	△45	—	—
合計	37,467	3,066 8.9%	49.3%	4,669	413 9.7%	48.6%

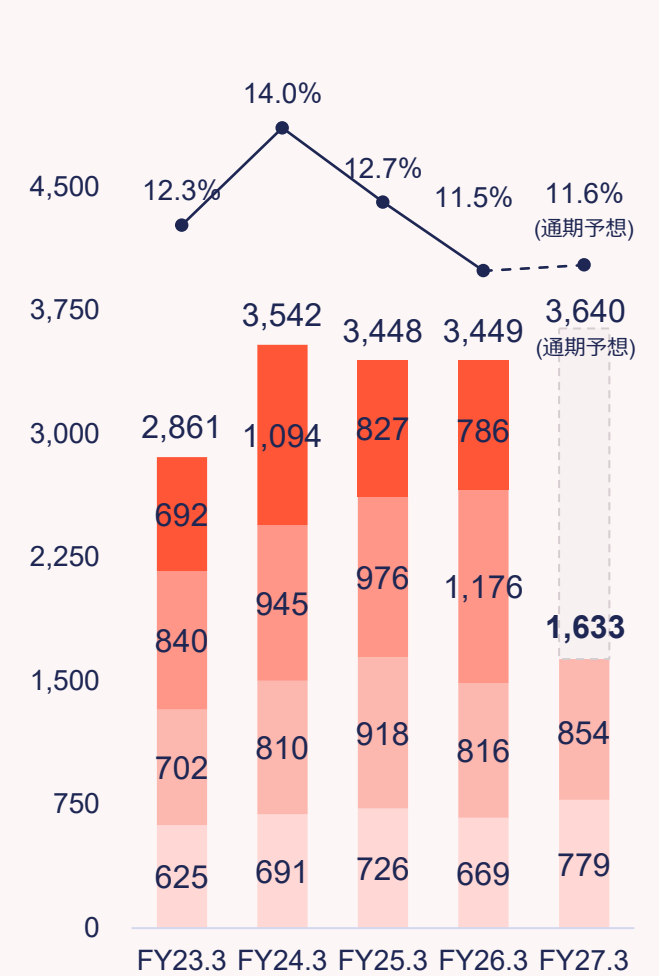
FY2027.3 H1		
売上高	15,523	百万円
YoY	7.3%	
営業利益	1,633	百万円
YoY	9.9%	

- 自動車保険会社の契約台数の増加や、前期第3四半期以降に開始した新たなクライアント企業向けサービスの順調な拡大により増収。
- 夏季繁忙や一部の災害地域における仕入コストが上昇したものの、期初よりの委託料改定や、取引先の業務終了に伴う一時的な売上計上要因もあり増益。

売上高



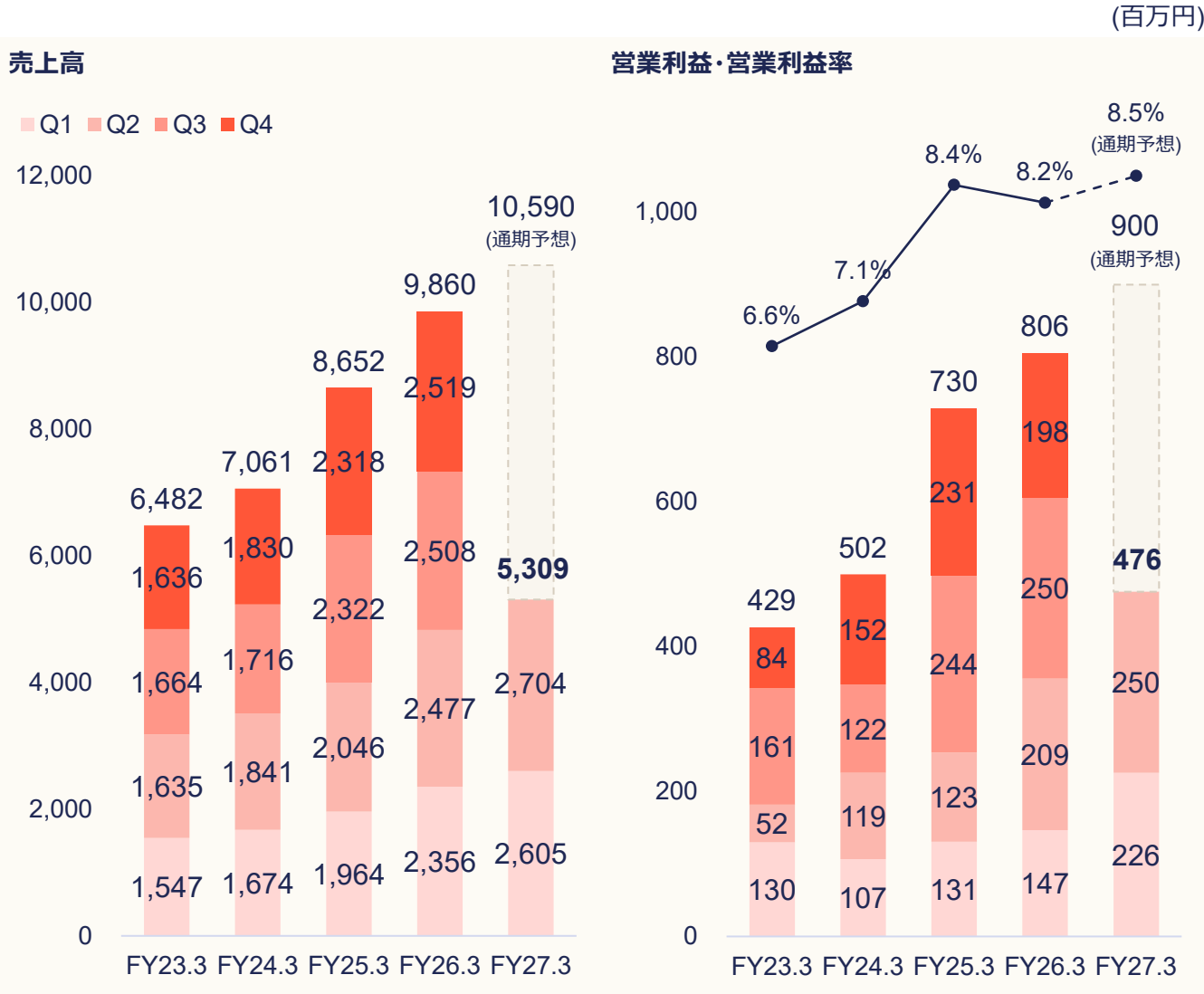
営業利益・営業利益率



表示単位未満の端数は切り捨てて表示しているため、合計値が表示の値と合わない場合があります。
「通期予想」の値は、p11で示している修正後予想を記載しております。

FY2027.3 H1			
売上高		5,309	百万円
	YoY		9.9%
営業利益		476	百万円
	YoY		33.7%

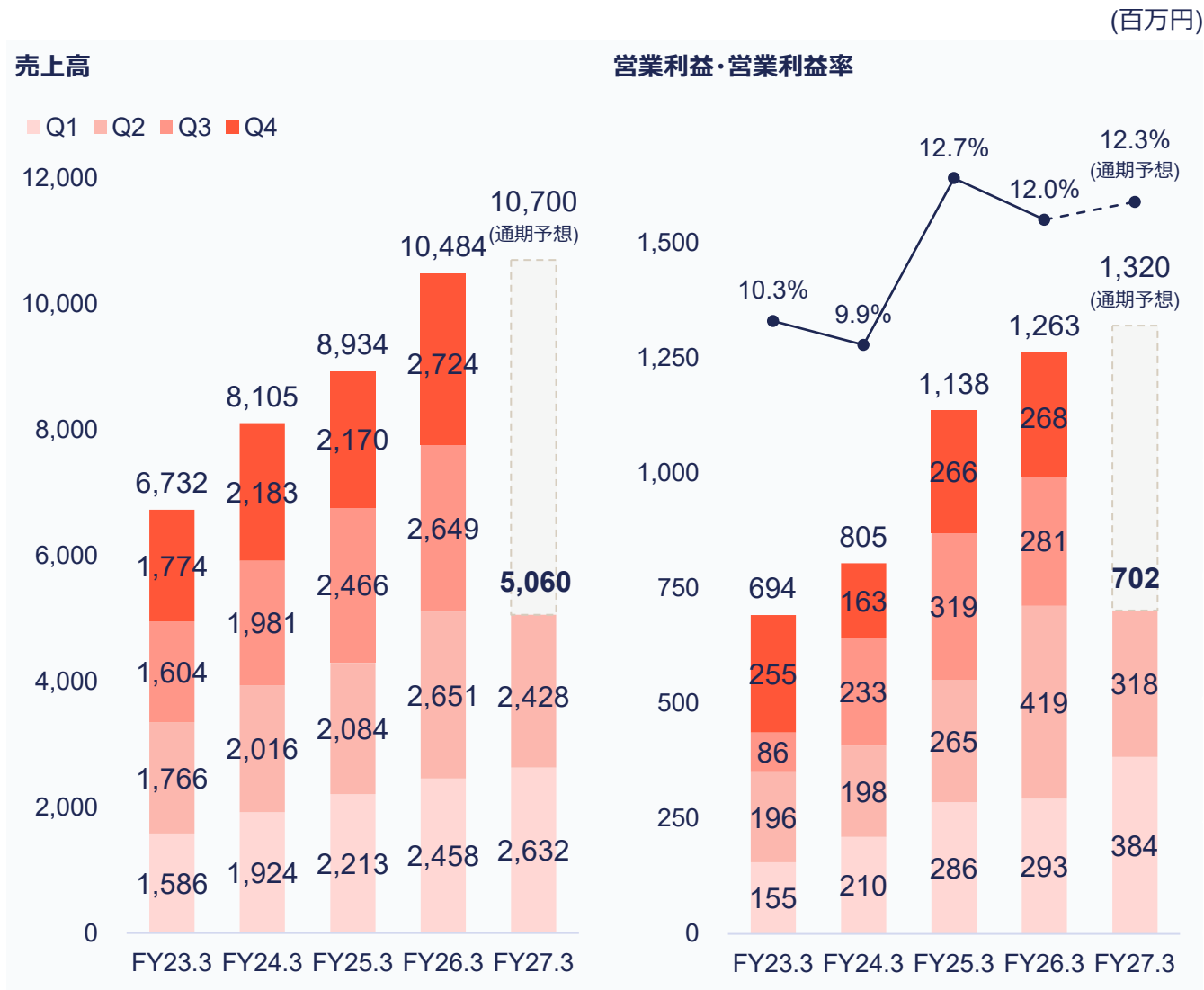
- ホームアシストにおける賃貸住宅向け駆けつけサービスの対象賃貸戸数の増加により引き続き好調に推移。コインパーキング向けサービスを提供するパークアシストでの期初からの委託料改定が寄与し増収。
- パークアシストにおける増収効果等が寄与し増益。



表示単位未満の端数は切り捨てて表示しているため、合計値が表示の値と合わない場合があります。
「通期予想」の値は、p11で示している修正後予想を記載しております。

FY2027.3 H1		
売上高	5,060	百万円
YoY	△1.0%	
営業利益	702	百万円
YoY	△1.4%	

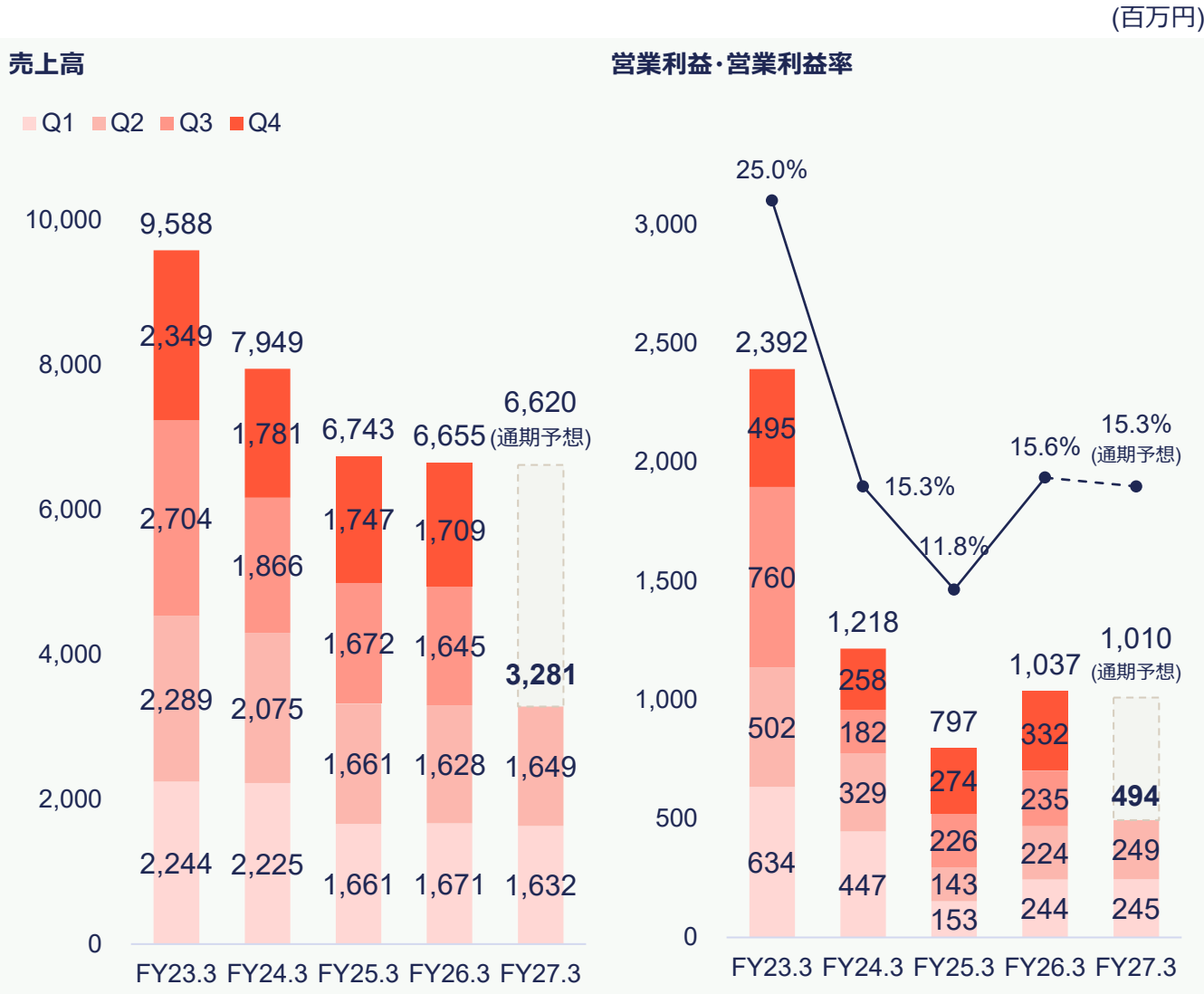
- 主力のヘルスケアプログラムにおいて、新規クライアント企業の獲得は引き続き順調に拡大したものの、既存クライアント企業の契約形態変更に伴う保険料売上の減少により、全体として売上微減。
- ヘルスケアプログラムの売上減少に伴い同額の保険料原価も減少し利益影響は軽微であったものの、海外旅行保険の損害調査代行サービス（東南アジア・欧州等）での取扱件数減少が響き、全体として減益。



表示単位未満の端数は切り捨てて表示しているため、合計値が表示の値と合わない場合があります。
「通期予想」の値は、p11で示している修正後予想を記載しております。

FY2027.3 H1			
売上高	3,281 百万円		△0.6%
	YoY		
営業利益	494 百万円		5.4%
	YoY		

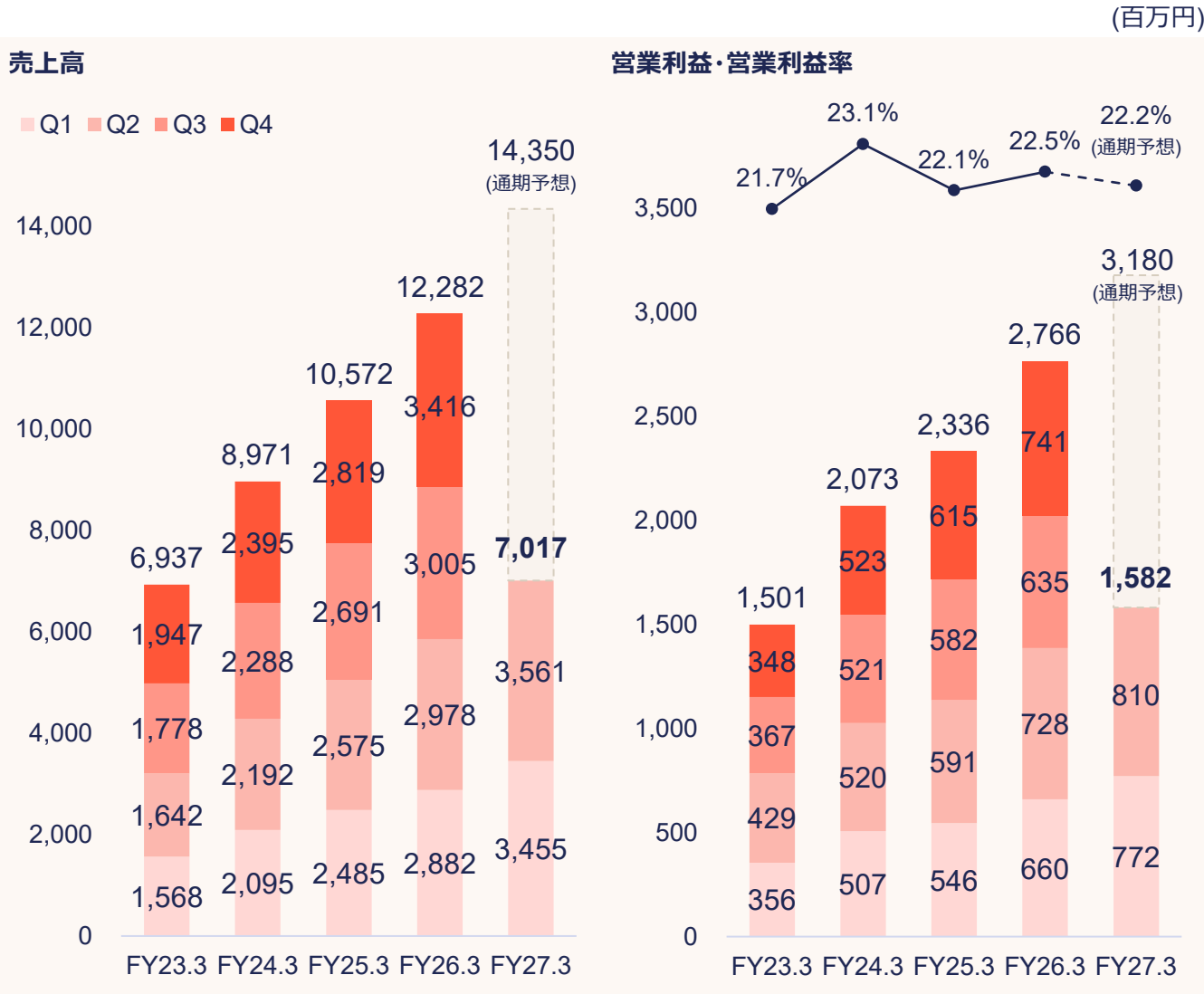
- 既存クライアント企業向け取引が堅調に推移し、前年同期と同水準を維持。
- 既存業務の品質向上を図りつつ、DX等の業務効率化プロセスの加速により収益性が改善。



表示単位未満の端数は切り捨てて表示しているため、合計値が表示の値と合わない場合があります。
「通期予想」の値は、p11で示している修正後予想を記載しております。

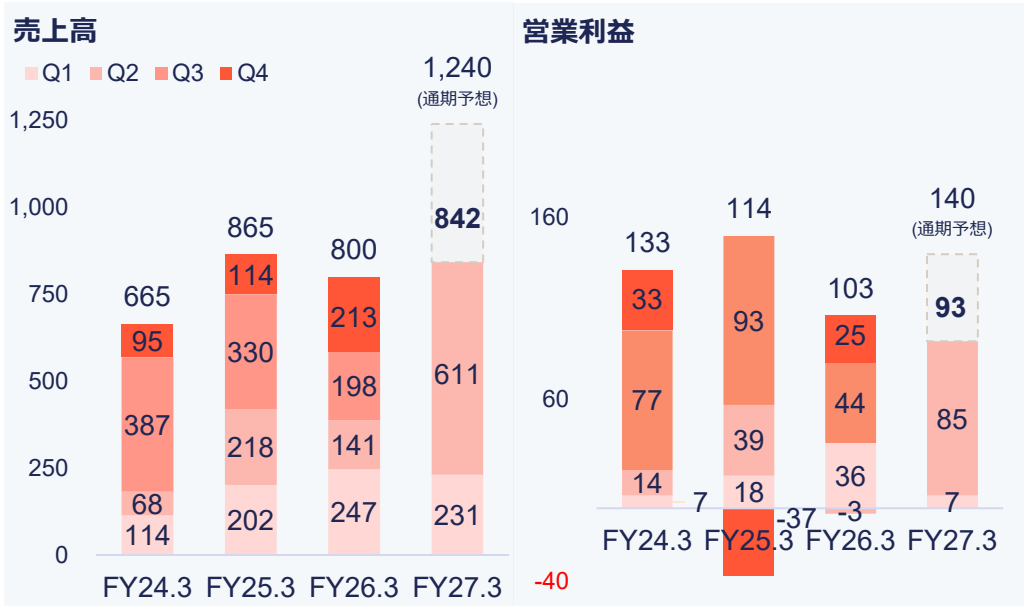
FY2027.3 H1		
売上高	7,017	百万円
YoY	19.7%	
営業利益	1,582	百万円
YoY	14.0%	

- グループ会社の株式会社イントラスト（証券コード：7191）が展開する保証事業における家賃債務保証事業の契約件数が引き続き好調に推移したことに加え、医療費用保証事業及び介護費用保証事業についても契約件数が順調に推移したことを受け、増収となりました。
- 家賃債務保証契約の増加に伴い業務委託手数料が増加したものの、貸倒費用が想定よりも抑えられたほか、その他の費用増加が一定水準に抑制されたこと等により増益。



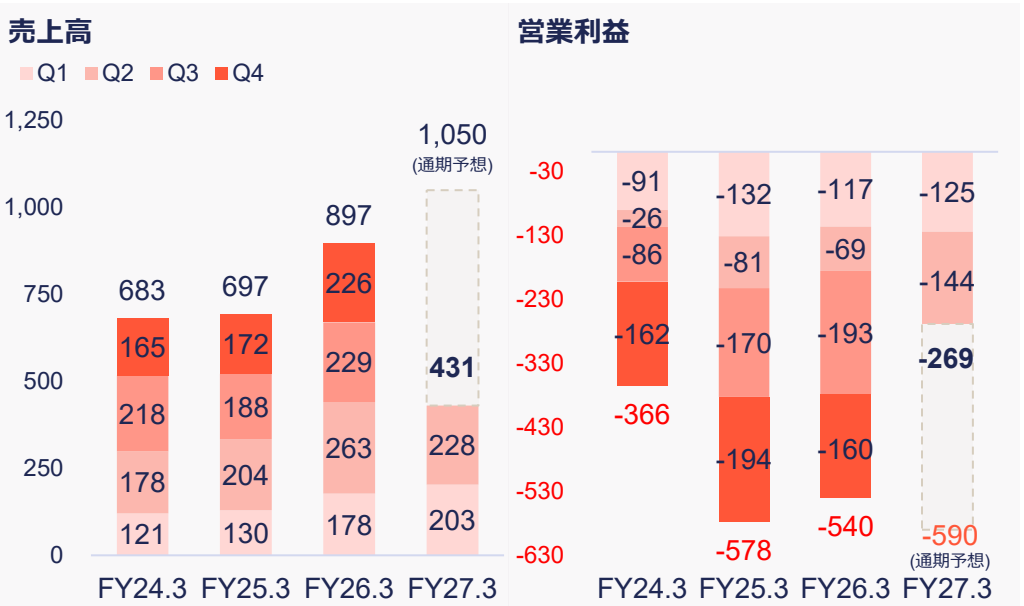
表示単位未満の端数は切り捨てて表示しているため、合計値が表示の値と合わない場合があります。
「通期予想」の値は、p11で示している修正後予想を記載しております。

IT事業			(百万円)
FY2027.3 H1			YoY
売上高	842	百万円	116.6%
営業利益	93	百万円	183.8%



■ ITソリューションを提供するIT事業は、少額短期保険クライアント向けに開発していたシステムの稼働開始に伴い、一時的な売上及び開発に関わった費用を計上し、大幅な増収・増益。

ソーシャル事業			(百万円)
FY2027.3 H1			YoY
売上高	431	百万円	△2.2%
営業利益	△269	百万円	(—)



■ 女子スポーツチーム「アランマーレ」のバレーボールチームが本拠地を移転したことに伴いスポンサーが一部離脱したこと等による減収に加え、体制・戦力強化を目的とした人件費の増加等により減益。

表示単位未満の端数は切り捨てて表示しているため、合計値が表示の値と合わない場合があります。
「通期予想」の値は、p11で示している修正後予想を記載しております。

株主還元



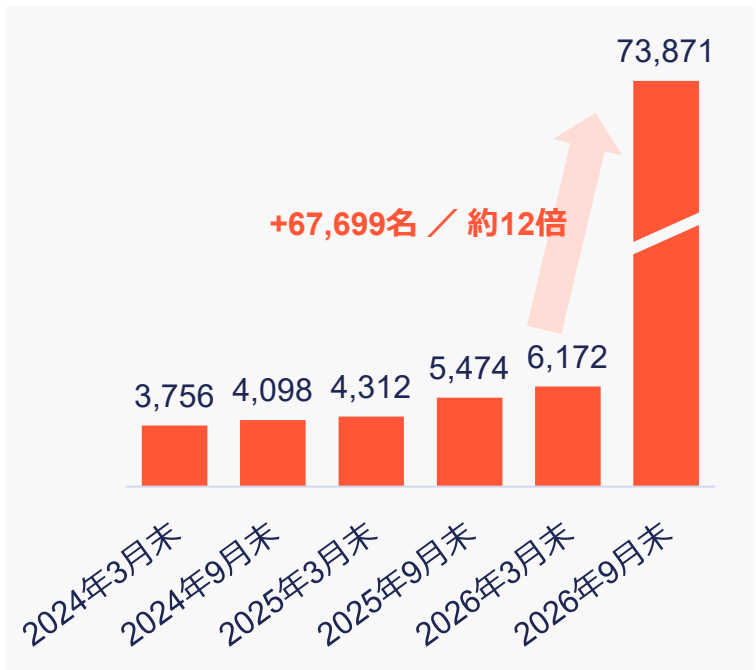
株主還元 | 創業40周年記念優待による株主基盤の拡大

2026年9月末を基準日として実施した「創業40周年記念優待」をはじめとする施策の効果によって、総株主数は半年で約12倍の7.3万人へ伸長。100株層を中心とする個人株主の急増により、安定基盤を維持しながら株式の流動性向上を実現してまいります。

いずれも2026年3月末と2026年9月末の比較

総株主数

73,871名



100～199株保有層

1,813名

+51,680名 / 約29倍

53,493名

個人保有比率

4.16%

+5.85 pt

10.01%

影響と今後の施策

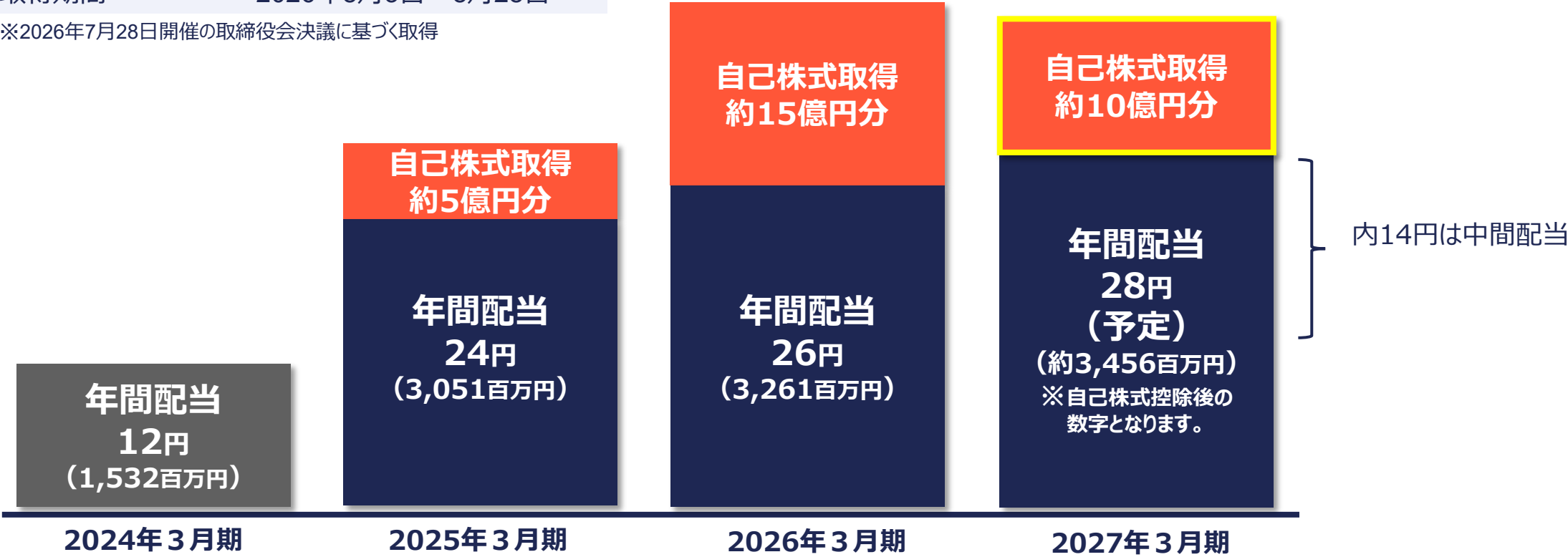
- 株式流動性の向上 単元株主の拡大（6万人規模）による出来高底上げと、安定した株価形成基盤の獲得
- 安定株主層の形成 新規個人株主に対し、当社の事業モデルや成長戦略をわかりやすく発信し、継続的な保有を促進
- コスト影響の適正化 流動性改善や認知度向上に向けた一時的な費用増と位置づけ、通期予算内で適切にコントロール

2026年7月28日に決議した約10億円の自己株式取得について、8月末をもって取得終了いたしました。
今期予定している年間配当28円と合わせ、第8次中期経営計画で掲げる「総額130億円還元」の達成に向けて順調に進捗しています。

自己株式取得の実績

取得した株式の総数	1,395,400 株
取得価額の総額	999,962,600 円
取得期間	2026年8月3日～8月28日

※2026年7月28日開催の取締役会決議に基づく取得



第8次中期経営計画における配当方針

第8次中期経営計画で掲げた還元方針に則り、今期は年間28円（前期比+2円）への増配を予定しております。配当性向60%程度を維持し、安定かつ継続的な利益還元を実施してまいります。

		中間	期末	合計	連結 配当性向	総還元性向
FY2026.3 (実績)	1株当たり配当金(円)	13.00	13.00	26.00	55.4%	80.0%
	配当額(百万円)	1,640	1,621	3,261		
FY2027.3	1株当たり配当金(円)	14.00	14.00 (予想)	28.00 (予想)	59.2% (予想)	—
	配当額(百万円)	1,728	1,728 (予想)	3,456 (予想)		

表示単位未満の端数は切り捨てて表示しているため、合計値が表示の値と合わない場合があります。

■ サステナビリティ



サステナビリティ | 800席規模のBPO拠点を秋田県潟上市に開設

2026年8月1日、秋田県潟上市に「秋田BPO潟上キャンパス」を開設いたしました。
女性や若者が地元で輝くための環境を整備し、単なる職場としてのみならず、生活の場、コミュニティの場としても最大限活用が可能となる魅力的なエリアとして展開し、さらなる雇用創出と地域の活性化を目指します。9月末現在、およそ300名が業務に従事しています。



©Ena Mitsui (Kawasumi・Kobayashi Kenji Photograph Office)

施設概要

所在地	秋田県潟上市昭和大久保字北野蓮沼前山1-5
敷地面積	約53,000㎡
投資額	約51億円
総席数	約800席
構成設備	カフェテリア、研修施設、企業内保育園、スタジオ、自家発電装置、その他

関連ニュースリリース

2026年 8 月 3 日
[『秋田BPO潟上キャンパス』開設のお知らせ ～さらなる雇用創出と地域の活性化を目指して～](#)

2026年10月15日
[「秋田BPO潟上キャンパス」落成披露式典を開催](#)

サステナビリティ | 創業40周年記念式典を開催

当社は、2026年10月30日をもちまして創業40周年を迎えます。

創業40周年の節目を迎えるにあたり、日頃よりご愛顧いただいているクライアント企業の皆様をお招きし、「秋田BPO潟上キャンパス」及び「富山BPOタウン」の2拠点にて周年記念式典を開催いたしました。合わせて200名以上のクライアント企業及び自治体の皆様にご臨席いただきました。



写真左から：西 富山県副知事、当社 玉上代表取締役、夏野 射水市長



創業40周年を迎えることができましたのは、すべてのステークホルダーの皆様の温かいご支援の賜物であり、心より御礼申し上げます。これからも地域社会での雇用創出と発展に貢献しつつ、社会やお困りごとに寄り添うサービスの創造に努めてまいります。

コーポレートサイト 40周年特設コンテンツ

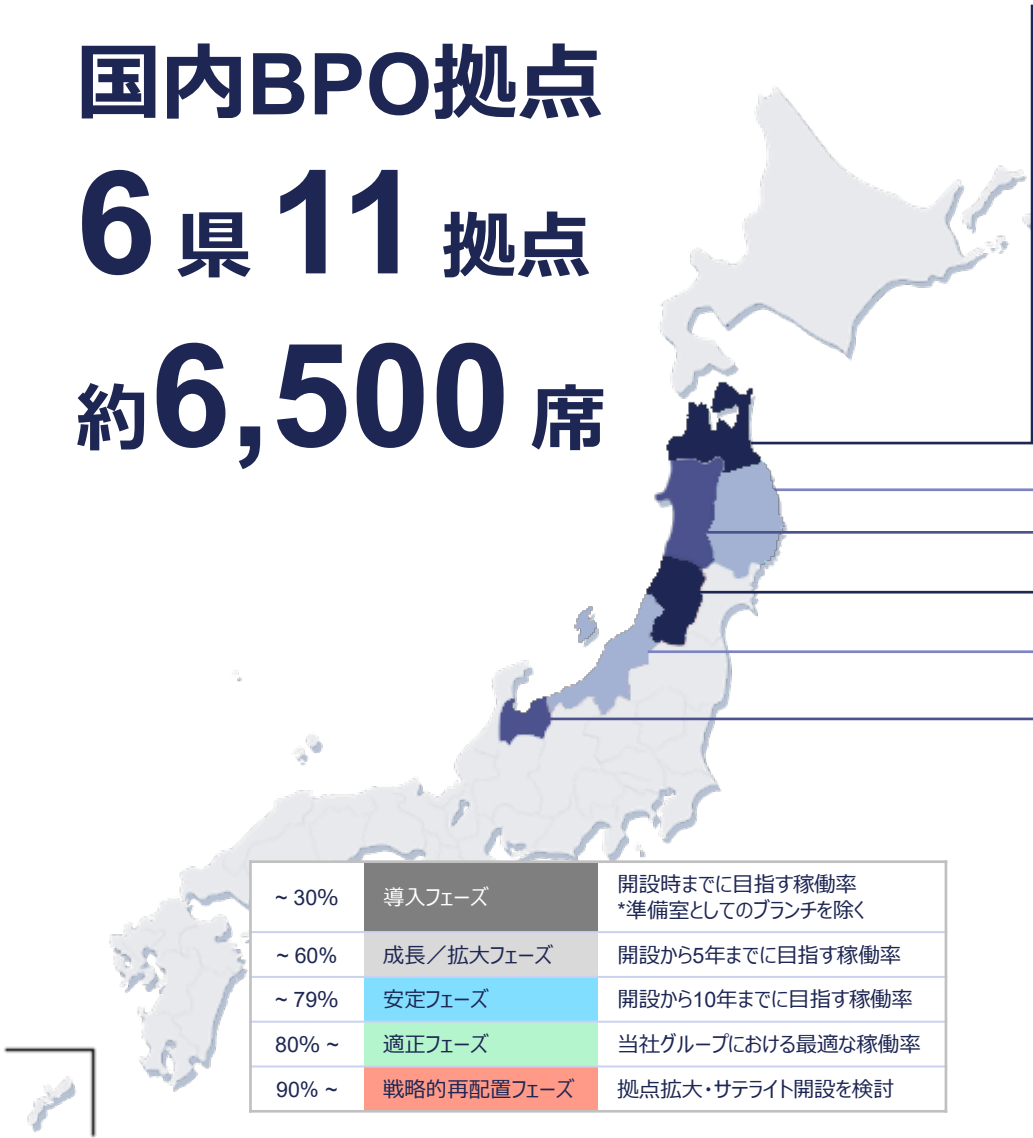
https://www.prestigein.com/company_profile/40th.html



Appendix



国内BPO拠点
6県 11拠点
約6,500席



青森県

- 青森BPO三沢ブランチ 設立:2025 席数:約100席

岩手県

- 岩手BPOフォートレス 設立:2024 席数:約500席

秋田県

- 秋田BPOメインキャンパス 設立:2003 席数:約1,500席
- 秋田BPO横手キャンパス 設立:2019 席数:約500席
- 秋田BPOにかほキャンパス 設立:2022 席数:約500席
- 秋田BPO潟上キャンパス 設立:2026 席数:約800席
- 秋田BPO大仙ブランチ 設立:2024 席数:約100席

山形県

- 山形BPOパーク 設立:2013 席数:約1,000席
- 山形BPOパーク鶴岡ブランチ 設立:2018 席数:約150席

新潟県

- 新潟BPO魚沼テラス 設立:2019 席数:約250席

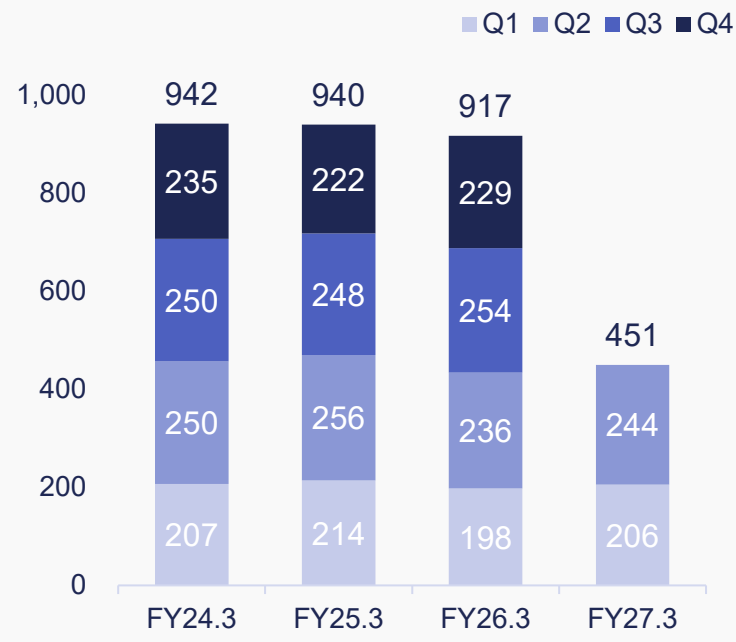
富山県

- 富山BPOタウン 設立:2015 席数:約1,100席

FY2027.3 | H1

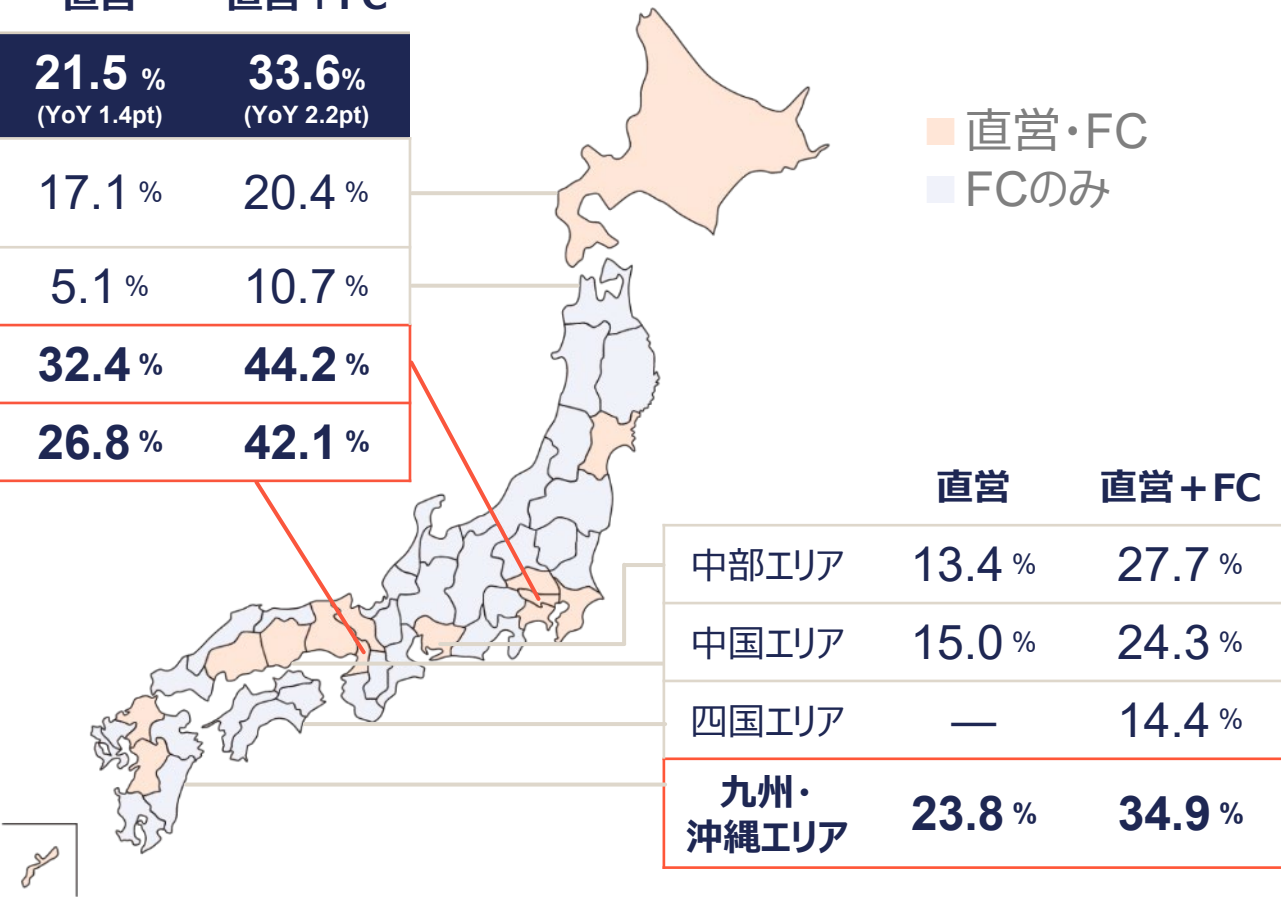
手配件数 **451,626** 件
YoY **3.9%**

ワンストップ手配件数推移



PREMIER Assist 直営及びフランチャイズ(FC)出動割合

	直営	直営 + FC
全国	21.5 % (YoY 1.4pt)	33.6 % (YoY 2.2pt)
北海道エリア	17.1 %	20.4 %
東北エリア	5.1 %	10.7 %
関東エリア	32.4 %	44.2 %
近畿エリア	26.8 %	42.1 %



表示単位未満の端数は切り捨てて表示しているため、合計値が表示の値と合わない場合があります。

PREMIER Assist ロードアシスト	FY2024.3	FY2025.3	FY2026.3	FY2027.3 H1	FY2027.3 (計画)
PREMIER Assist 直営拠点数	34	33	36	37	40
PREMIER Assist FC加盟社数	107	116	121	125	129
うちEV用ポータブル充電器配備社数	73	84	85	85	85
PREMIER Assist 直営拠点人員数	278	309	364	387	415
PREMIER Assist 直営保有車両数	236	276	303	308	344
レッカー車	68	75	80	85	99
うちEV給電可能なレッカー車	56	62	62	62	62
積載車	79	96	106	108	128
サービスカー	85	102	115	113	115
特車(バイク専用車両)	0	0	0	0	0
バイク	4	3	2	2	2

FY2027.3 | H1

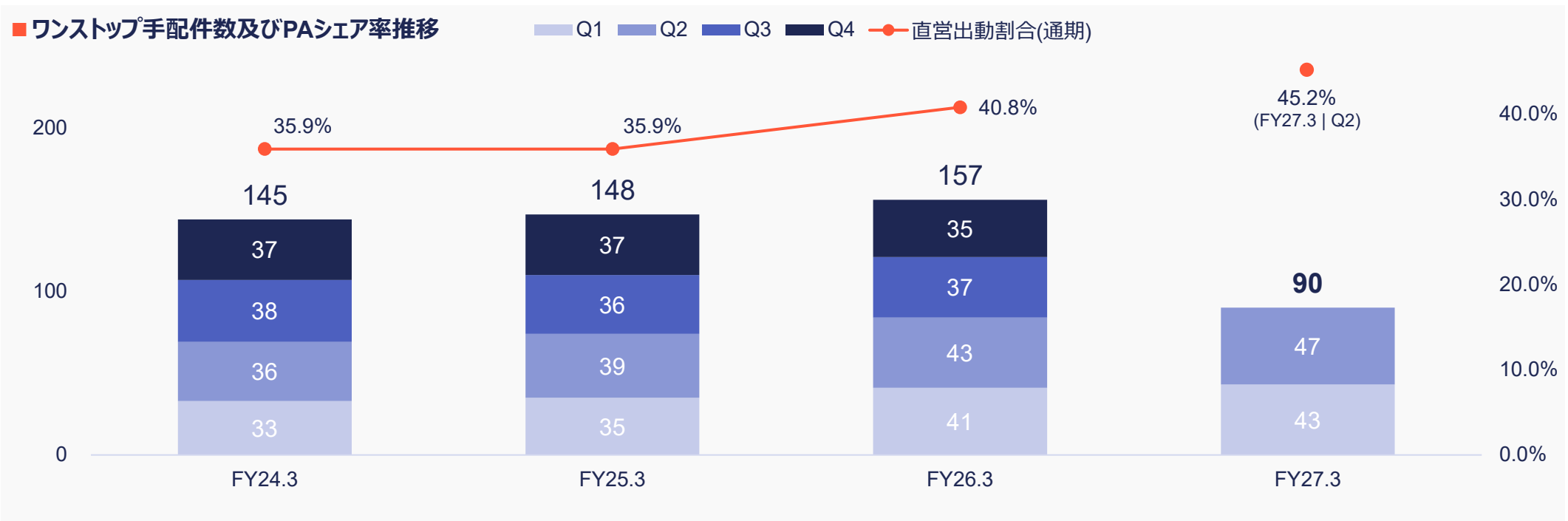
手配件数

90,329 件

YoY

6.4%

PREMIER Assist ホームアシスト	FY24.3	FY25.3	FY26.3	FY27.3 H1	FY27.3 (計画)
拠点数	14	16	16	16	17
人員数	141	157	163	180	191



表示単位未満の端数は切り捨てて表示しているため、合計値が表示の値と合わない場合があります。

FY2027.3 | H1

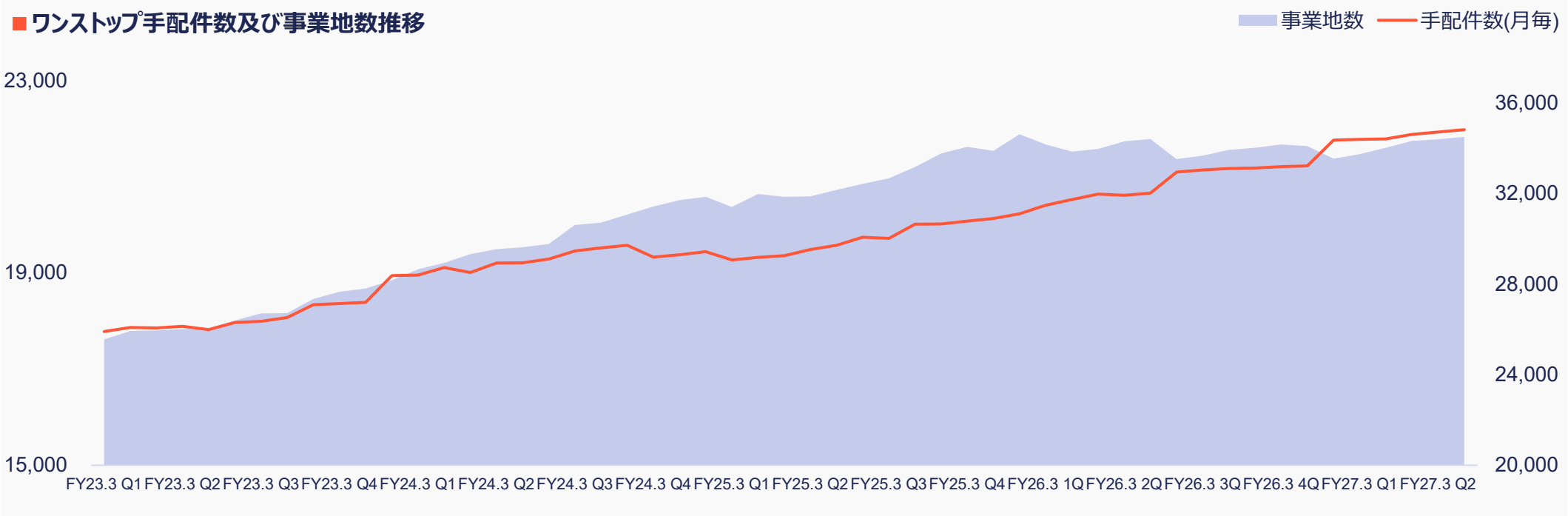
手配件数

207,373 件

YoY

8.9%

PREMIER Assist パークアシスト	FY24.3	FY25.3	FY26.3	FY27.3 H1	FY27.3 (計画)
拠点数	11	10	12	13	13
人員数	264	257	278	270	289



表示単位未満の端数は切り捨てて表示しているため、合計値が表示の値と合わない場合があります。

本資料の取り扱いについて

本資料は当社をご理解いただくための情報提供を目的としており、当社への投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料に含まれる将来の予想に関する記述等につきましては、現時点における目標や予測に基づき判断したものであり、確約や保証を与えるものではありません。

将来における当社の業績の数値、結果、パフォーマンス等は、現時点における将来の予想と異なる結果となる可能性がある点をご確認の上、ご利用ください。

本資料に記載された将来の事項は、経済情勢及び市場環境や当社グループの関連する業界動向の変化、その他内部・外部要因等により予告なく変更することがあります。

IRニュース配信サービス

プレスステージ・インターナショナルの最新情報やニュースリリースなどを、
ご登録いただいた皆様に電子メールにてお知らせするサービスです。
この機会にぜひご登録ください。

ご登録はこちらから▼

IRニュース配信サービス登録

二次元コードからのご登録いただけます▼





PRESTIGE INTERNATIONAL